

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 26-157
補助事業名 平成26年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充事業等補助事業
補助事業者名 千葉県

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

千葉県の機械工業において、地域の特性を活かした事業活動を展開し、中小機械工業の技術力の向上、事業基盤の強化を通じて新たな事業展開を行うため、試験研究機器を導入して設備の拡充強化を図り、もって機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容

① バイオマス複合材料安全性評価システムの導入

バイオマス原料特有の問題（微生物汚染や原料由来物質の溶出等）について評価し、安全性を確認する体制を整備するため、バイオマス複合材料安全性評価システム（構成機器：ガスクロマトグラフ、全有機炭素計、分光測色計、システム顕微鏡）を導入する。

② マイクロビッカース硬さ試験機の導入

自動計測機能のついた高精度なマイクロビッカース硬さ試験機を導入し、複雑な形状の製品や微小な製品、破壊した部品、表面処理により強度が不均一の部材等の硬さが測定できる機器を導入する。

2 予想される事業実施効果

(1) バイオマス複合材料安全性評価システムの導入効果

バイオマス原料の品質確認及び安全性評価を組み入れた試作開発への取組が一層推進されることにより、様々なバイオマス資源の活用方法についての検討が容易となる。また、多様な原材料の活用及び新規材料の開発が促進される。

(2) マイクロビッカース硬さ試験機の導入効果

マイクロビッカース硬さ試験機の導入により、飛躍的に簡便・迅速・高精度な測定が可能となることから、様々な製品・部品・材料に対し、正確でスピーディな品質管理手法を提供できる。

3 本事業により導入した設備

① バイオマス複合材料安全性評価システム

(<http://www.pref.chiba.lg.jp/sanken/kikisetsubi/dounyuu/h26.html>)

設置場所：【千葉県産業支援技術研究所（加曽利庁舎）】

<システムを構成する機器>

①-1 ガスクロマトグラフ

気体中に含まれる成分を分離・検出する装置です。気化させることが可能であれば、液体中に含まれている成分も測定することが可能です。



①-2 全有機炭素計

水中の有機物を有機体炭素の総量として測定する装置で、水の汚れ具合に関する指標の一つとして様々な分野で活用されています。測定範囲が広く、純水から高汚濁水まで測定が可能です。



①-3 分光測色計

人の感覚量である「色」を測定し、数値化するための装置です。カラー液晶を備え、小型・軽量で機動性・操作性に優れています。



①-4 システム顕微鏡

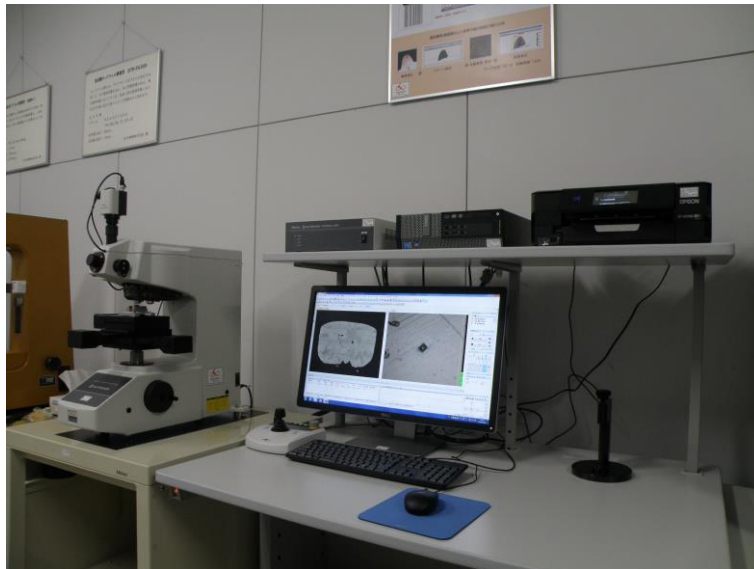
明視野観察、微分干渉観察、位相差観察、蛍光観察の各種検鏡方法に対応した顕微鏡です。ソフトウェアから電動制御で観察手法が切り換えでき、簡便に観察やデジタル画像の取得が可能です。



②マイクロビッカース硬さ試験機

(<http://www.pref.chiba.lg.jp/sanken/kikisetsubi/dounyuu/h26.html>)

オートフォーカス機能や、電動ステージ、独自のソフトウェアも備えたビッカース硬さ試験機です。低荷重(0.4903mN)領域から試験でき、試料形状の認識から測定パターン設定、自動負荷、自動測長に至る一連の作業が誰でも簡単に行えます。



設置場所：【千葉県産業支援技術研究所（天台庁舎）】

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 千葉県産業支援技術研究所

(チバケンサンギョウシエンギジュツケンキュウジョ)

住所： 264-0017

千葉県千葉市若葉区加曽利町889

代表者： 所長 中田 裕之 (ナカダ ヒロユキ)

担当部署： プロジェクト推進室 (プロジェクトスイシンシツ)

担当者名： 研究員 近間 真澄 (チカマ マスミ)

電話番号： 043-231-4326

F A X : 043-233-4861

E-mail : citri-pro@mz.pref.chiba.lg.jp

URL : <http://www.pref.chiba.lg.jp/sanken/>